

はじめに

嶺井 正也 5

第1章 近代公教育制度における包摂と排除

——イタリアと日本の比較分析を通して

嶺井 正也 15

第2章 フランスの「スカーフ禁止法」にみる移民の包摂と排除

池田 賢市 51

第3章 ドイツ公教育における外国人児童・生徒の法的地位と現状

——デニズンの包摂を手掛かりとして

福山 文子 75

第4章 教職員組織における包摂と排除

——人確法をめぐって・学校事務職員の視点を中心に

中村 文夫 103

第5章 戦後公教育体制と教員管理政策の試論的検討

——「分限」処分を通じた教員の包摂と排除

元井 一郎 137

第6章 特別支援教育における包摂と排除

一木 玲子 167

第7章 幼児保育における包摂と排除

——「認定子ども園」は解決策となるか？

中西 綾子 195

第8章 「心の教育」における包摂と排除

——「心のノート(中学校)」とジェンダー・セクシュアリティ教育を中心として

櫻井 具子 217

第9章 地球化時代の「改正」教育基本法における包摂と排除の論理

国祐 道広 243

あとがき

国祐 道広 271